NIE実践報告

1．タイトル：公民的資質を持つ子どもを育てるために

2．学校名

和歌山県田辺市立新庄小学校

3．実践者名（代表者名）

橘加奈子

4．学年

第５学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会・総合的な学習の時間　３１人

6．単元（本時の学習課題）名

「自然を守る運動・自分たちにできること」

7．目標（狙い）

森林が抱える問題を探り、その問題解決のために新聞や統計資料を使って情報収集を行う。さらに得た情報をもとに自分たちにできること（森林を守る活動や情報発信）を考え実行する。

8．評価の視点

課題解決のために、新聞や統計資料を適切に使って情報収集できたか。
得た情報をもとに、自分たちにできることを考え実行できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「自然を守る運動」（教科書教材：大阪書籍）[社会：８時間]
「情報発信基地・新庄」[総合的な学習の時間：１０時間]　　合計１８時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①森林の働きや森林の様子を調べる。（１時間）
②林業の仕事を調べることにより、林業従事者の仕事の大変さや努力について理解する。（１）
③日本の森林の現状を調べ、日本の森林の今後について考える。（２）※新聞記事の活用
④どうすれば森林を守ることができるのかを考える。（１）※新聞記事の活用
⑤自然保護運動について調べ、地域社会の一員として、自分たちにできることに対する関心を高める。（２）
⑥森林保護・育成のために自分たちにできることを考える。（１）
⑦紙芝居を作り、かしの木バンクへの協力・緑の羽募金を全校に呼びかける。（総合的な学習の時間５）
新聞を作成し、地域の人々に森林の大切さを伝える。（総合的な学習の時間５）
（留意点）
・新聞を読み、気になった記事を毎日一つスクラップし、その内容を要約し自分の感想を書かせる。
・授業内容に関係する記事は、必ず授業で紹介し自分の考えも述べさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞を読み、気になった記事を毎日一つスクラップし、その内容を要約し感想を書くことにより、自分を取り巻く環境について考え、日々の出来事に関心を持つようになった。

12．成果と課題

社会科の時間だけでなく総合的な学習の時間もリンクさせて単元を構成し、日々発行される新聞も授業に組み込みながら実践を進めることにより、社会的事象が身近なものとなり、自分に関わる問題として学習課題にも取り組むことができた。平成２３年３月１１日に起こった東日本大震災翌日の新聞スクラップ帳では、ほぼ全員がこのニュースを取り上げ、子どもたちの声から募金活動を行った。さらに、自然保護活動の重要性を継続的に発信していくことが今後の課題である。